MITSUBISHI

三菱掃除機（家庭用）

取扱説明書

形名

TC-EXC7J（テー シー イーエックスシー ジェー）

（タービンブラシ）

特長

■軽量コンパクト サイクロン式掃除機

■軽量タービンブラシ

もくじ

<保証書付>

保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いていますので、お買上げの販売店の記入をお受けください。

- ●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ●裏表紙の「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- ●「取扱説明書（保証書）」「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口のご案内」は、大切に保存してください。

※この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

仕様

形　名	TC-EXC7J
電　源	100V 50-60Hz
消費電力	850W〜約300W
吸込仕事率※	300W〜約80W
運転音	65dB〜約59dB
集じん容積	0.6L（ゴミすてラインまで）
質　量	3.6kg（ホース・伸縮パイプ・タービンブラシ含む）
コードの長さ	5m
標準付属品	ホース・伸縮パイプ・タービンブラシ
応用付属品	サッシノズル・お手入れブラシ（ダストケース装着品）
本体寸法	幅：210×奥行：323×高さ：220（mm）

※吸込仕事率は、伸縮パイプ最長時のものです。（ティッシュペーパー装着時は、約20W低下します）

〈抗菌について〉

部品名	銀ナノHEPA（ヘパ）フィルター
抗菌の確認試験機関名	（財）日本紡績検査協会
試験方法	JIS L 1902に基づく
試験結果	99%以上
抗菌の方法	フィルター材に含浸
抗菌の処理を行なっている部品名称	ひだ織り不織布

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる、「製品登録サービス」を実施しております。詳しくはこちらをご覧ください。
www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

安全のために必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■取扱説明書で使われている図記号の意味は右のとおりです。

 してはいけないこと　 必ず実行すること

⚠警告

してはいけないこと

■引火性のあるものや火気のあるもの・液体を吸わせない
（灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナーなどの可燃物、たばこの吸いがら、水、飲みものなど）
〔火災・感電の原因〕

■電源コードを回転ブラシに巻き込まない〔感電の原因〕

■改造しない、分解・修理しない
〔火災・感電・けがの原因〕

■運転中は回転ブラシに触れない
〔けがの原因〕
特にお子さまにご注意ください。

■カバーが開いているとき、カバーを持って本体を持ち上げない
〔本体の変形やけがの原因〕

■水洗いしない、風呂場などでは使わない〔感電の原因〕
（ダストケース・タービンブラシ・サッシノズルのみ洗えます）

■電源プラグをぬれた手で抜き差ししない〔感電やけがの原因〕

■いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使わない
〔感電・ショート・発火の原因〕

■電源コードや電源プラグを傷つけない
（傷つけ・無理な曲げ・引っぱり・束ねたり・ねじったり・重いものをのせたり・挟み込んだり・加工しない）
〔破損して、火災・感電の原因〕

必ず実行すること

■電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う
〔他の器具と併用すると、発熱して火災・感電の原因〕

■電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
〔差し込みが不完全だと、感電・ショート・発煙・発火の原因〕

■お手入れのときは電源プラグを抜く
〔感電やけがの原因〕

■電源プラグのホコリなどは定期的に乾いた布でふき取る
〔ホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因〕

■異常・故障時には直ちに使用を中止する
- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- ホースが破れている
- こげくさいにおいがする
- その他の異常や故障がある

〔発煙・発火、感電、けがの原因〕
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店にご相談ください。

⚠注意

してはいけないこと

■吸込口をふさいで長時間運転しない
〔過熱による本体の変形・発火の原因〕

■排気口をふさがない〔火災の原因〕

■本体のピン穴に金属物を入れない
〔感電の原因〕

■ガソリン・ベンジン・シンナーなど、引火性のものの近くで使わない
〔爆発や火災の原因〕

■排気口・電源コード引き出し口に手や足を近づけない
〔排気により、やけどの原因〕
特にお子さまにご注意ください。

■火気に近づけない
〔本体の変形によるショート・発火の原因〕
〔排気でストーブの火などが大きくなり、火災の原因〕

■収納の状態で本体を持ち運ばない
〔伸縮パイプがはずれて、けがや床面に傷がつく原因〕

必ず実行すること

■使い終わったら電源プラグを抜く
〔けが・やけど、感電・漏電火災の原因〕

■電源コードは電源プラグを持って抜く
〔感電やショートして発火・火災に至る原因〕

■電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
〔電源プラグがあたって、けがの原因〕
特にお子さまにご注意ください。

故障などを防ぐために

この掃除機は家庭用です。業務用としての使用や、お掃除以外の目的には使用しないでください。また、次のことをお守りください。

■ホースなどのピンにさわらない

■手元パイプや伸縮パイプの先で吸わない
（ブラシ・ノズルなどをつけて使用する）

■タービンブラシの車輪・回転ブラシなどが摩耗したら、そのまま使わない P6
（お手入れ時に点検し、摩耗時は修理する）
〔故障や床面に傷がつく原因〕

■殺虫剤、消臭剤などをかけない

■ホースを持ってぶらさげない

■ホースを傷つけない

■破れたり、傷ついたホースを使わない

■本体に乗らない
（特にお子さまにご注意ください）

■次のようなものは吸わせない
〔故障や詰まり、異臭の原因〕
- 水などの液体や、湿ったゴミ
- ガラス、ピン、針、つま楊子、綿棒
- 多量の砂や粉　● 除湿剤
- ペットなどの排泄物が付着したもの
- くつした、ティッシュペーパー、ビニール袋、長いひも
- カーペットのふさなど
- ペットボトルのふたなど

各部のなまえと組み立てかた

- ホース・伸縮パイプ・タービンブラシは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
- はずすときは、着脱ボタンを押しながら抜いてください。
- 組み立てるときは、指をはさまないようにご注意ください。

本体内部

ダストケース（フィルター類）は必ず取りつけてください。取りつけないと故障の原因になります。

※排気は、左右の車輪のすきまと、電源コード引き出し口からも出ます。

本体ハンドル：本体を起こすときや、持ち運ぶときに使います。

電源コード・電源プラグ
- 電源コードは水平に引き出してください。
- 電源コードは黄マークまで引き出し、赤マーク以上引き出さないでください。

ブラシ裏面

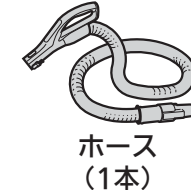
後ろローラー、つぎ手、回転ブラシ、ふきブラシ、車輪

ホース差込口

ピン穴（3つ）、ピン（2本）、着脱ボタン、カチッ
印（▲）を上面にしてしっかり差し込む
<はずすときは>
着脱ボタンを押しながらホースを抜く

お知らせ
- タービンブラシを床面から浮かせると、回転が停止します（風速が弱くなるため）。
- 毛足の長いじゅうたんや薄めのマットなどでは、回転ブラシが回転しにくくなる場合があります。

お知らせ
- 電源コード引き出し口より、フィルターを通過した電源コード冷却用の排気が出ます。
- 夏場などは、本体・電源コード・電源プラグ・排気の温度が熱く感じることがあります。室温からさらに約30℃熱くなることもありますが、異常ではありません。
- 各部品の接続部の穴とピンの数は、一致しません。

標準付属品

タービンブラシ（1個）　ホース（1本）　伸縮パイプ（1本）　ダストケース（1個）

応用付属品

サッシノズル（1個）　お手入れブラシ（1個）（ダストケースに装着済み）

本体の保護装置

（問合わせと修理を依頼される前に次のことをご確認ください）

モーターの過熱を防ぐために、本体の吸込力が自動的に低下します。
この状態で運転を続けると、モーターがさらに加熱され、運転が止まります。

次の場合に保護装置が働きます。
- ダストケースのフィルター類が目づまりした
- 吸込口を密閉したまま連続運転した
- ホース・伸縮パイプ・タービンブラシにゴミなどがつまったまま、連続運転した
- 先の細い吸口を連続使用した

この状態で使い続けると、故障の原因になります。

直しかた
①電源プラグを抜く
②ダストケースのフィルター類をお手入れし、ホース・伸縮パイプ・タービンブラシにゴミがつまっていたら、取り除く P6~7
→「入」または「中／弱」スイッチを押せば、すぐに使用できます。
（再び保護装置が働く場合は、①②を再度確認してください）

お掃除のしかた

⚠警告 いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使わない

● お部屋を整とんしてから掃除機をかけると、手際よくお掃除でき、電気のムダを省けます。
● 床・たたみの目にそって掃除機をかけると、傷つき防止になります。

運転を始める

電源プラグをコンセントに差し込み、強入または中/弱を押す

- 吸込力「強」で運転を始める
  スイッチに凸マーク(●)がついています。
- 吸込力「中」で運転を始め、押すごとに吸込力が切換わる
  中 ↔ 弱
  掃除場所に合わせて切換えてください。
- 運転を止める
  スイッチに凸マーク(▬)がついています。

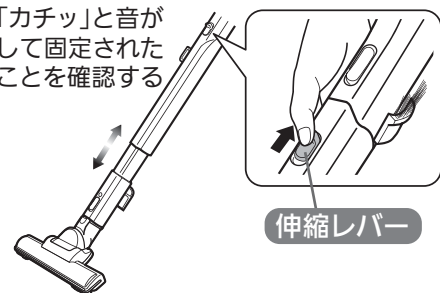
操作部

おねがい
<タービンブラシについて>
● 同じ場所をくり返しお掃除しない。〔床面に跡がつく原因〕
● 壁・床面などに強く押しあてない。〔傷つきの原因〕
● 強く横やななめ方向に動かさない。〔車輪などで床面に跡がつく原因〕

お知らせ
● 新しいじゅうたんは、初めのうち「遊び毛」が抜けます。
● 床用ワックスなどをご使用の場合、塗布面にすり傷がついたり、こすれて光沢に差が出ることがあります。
● お掃除中は、テレビ画面にノイズが発生することがあります。（テレビ本体に影響はありません）
● タービンブラシを砂ゴミの上で使うと、床面を傷つけることがあります。

伸縮パイプの長さ調節

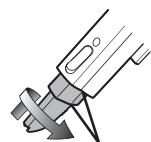
伸縮レバーを手前に引きながら、長さを調節する
（約48〜69cmに調節できます）

床面をお掃除しながら、伸縮レバーに触れないでください。固定が解除され、縮むことがあります。

すみずみブラシの使いかた

伸縮パイプをはずし、すみずみブラシを起こす

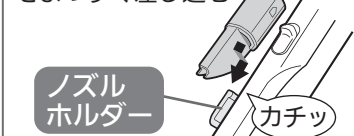
● 指をはさまないようにご注意ください。
● 手元パイプ（特に吸込口下側）で、床面や家具などを傷つけないようにご注意ください。
● すみずみブラシがはずれたときは、取りつけてください。
● ピアノなどの光沢のあるところには使わないでください。〔傷つきの原因〕

サッシノズルの使いかた

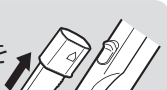
手元パイプまたは伸縮パイプにしっかりねじこむ

● 吸いつき防止のため、吸いつき防止穴からも吸気しています。

サッシノズルを使用中に、ダストサインが点灯したり、本体が少し熱くなることがあります。ダストサインが点灯した場合は、「弱」でお使いください。

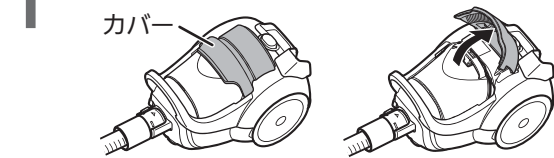
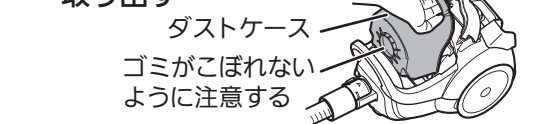
サッシノズルの収納

ノズルホルダーにサッシノズルをまっすぐ差し込む

はずすときは、サッシノズルを引き抜く。

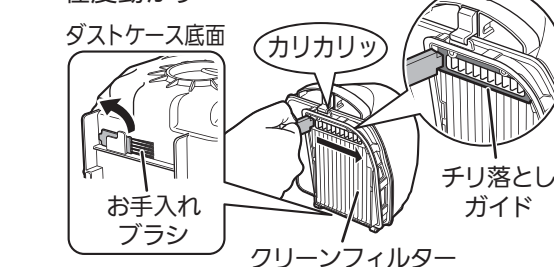
お掃除が終わったら

⚠警告 ゴミをすてるときは電源プラグを抜く

ゴミをすてる

ダストケースのゴミは、ゴミすてラインを超える前にすててください。
お掃除ごとにゴミをすてることをおすすめします。

1 本体を横にして、カバーを開ける

2 本体を押さえてダストケースを取り出す

● ゴミすてボタンを押さないでください。（ダストケースが開き、ゴミがこぼれます）
● 本体内部にゴミが落ちていたら、ふき取ってください。

3 クリーンフィルターのゴミやほこりを落とす

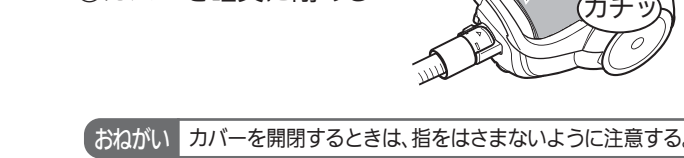
付属のお手入れブラシの柄の先端部をチリ落としガイドに沿わせながら、5回程度動かす

● 付属のお手入れブラシ以外は使わないでください。（クリーンフィルターの破損の原因になります）

4 ゴミすてボタンを押してゴミをすてる

● ネットフィルター周囲のゴミを、お手入れブラシで落としてください。

フィルターセットにティッシュペーパーをセットし、ゴミすてのたびにティッシュペーパーを交換して使うと、フィルターのお手入れが簡単です。
下記「ティッシュペーパーを使う」

5 ダストケースを取りつけ、カバーを閉める

①ダストケースをしっかり押し込む
②カバーを確実に閉める

おねがい カバーを開閉するときは、指をはさまないように注意する。

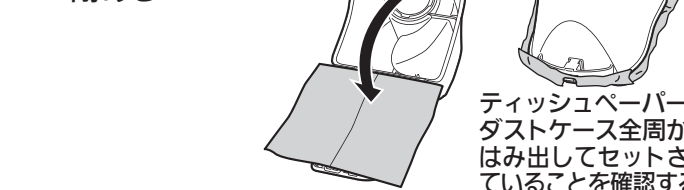
ティッシュペーパーを使う

● フィルターセットのお手入れ回数を軽減することができます。
● 市販のボックスティッシュペーパー1組を使用してください。

1 ティッシュペーパーの端を図のように折り込んでセットする

おねがい
● 市販のお掃除シートなどは使用しない。
● ティッシュペーパーは、ゴミすてごとにこまめに交換する。

2 ダストケースを閉める

ティッシュペーパーがダストケース全周からはみ出してセットされていることを確認する。

ティッシュペーパーを使用すると、次のような症状がおこる場合があります
● 運転音が高くなる　● 吸込力が弱くなる
● 排気が熱くなる　● ダストサインが早めに点灯する
ティッシュペーパーを交換しても症状が変わらない場合は、フィルター類をお手入れしてください。P6

収納する

● 安定の良い床面で、倒れないことを確認してから収納してください。また、倒れたときに他の物が破損しない場所を選んでください。
● タービンブラシをつけたまま収納してください。

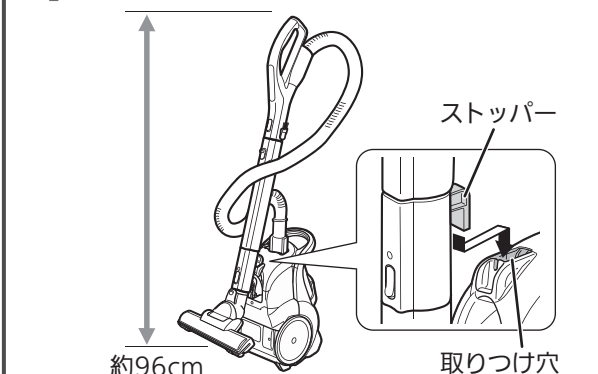
1 電源コードを巻き取る

電源プラグを持ち、コード巻込みボタンを押す

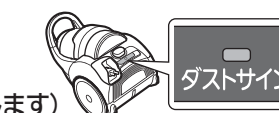
● 確実に巻き取らないと、収納時に床面にプラグ刃があたります。
● 一度で巻き取れないときは、2〜3m引き出してから、再度巻き取ってください。

2 伸縮パイプを縮める P4

3 本体を立て、本体の取りつけ穴にストッパーを差し込む

4 ホースを伸縮パイプに巻きつける

おねがい
● 収納の状態で本体を持ち運ばない。〔伸縮パイプがはずれて、けがや床面に傷がつく原因〕
● 収納の状態で本体を引きずらない。〔床面に傷がつく原因〕

ダストサイン（赤）

（お手入れの時期をお知らせします）

点灯
■吸込力「強」のときにのみお知らせします。
● ダストケースのゴミをすててください。P4~5
● それでも点灯するときは、フィルター類が目づまりしています。お手入れしてください。P6

点滅
■フィルター類が目づまりしたため、吸込力が自動的に低下しました。お手入れしてください。P6
● この状態で運転を続けると、保護装置が働き運転が止まります。P3

おねがい
● ダストサインが点灯・点滅したまま使い続けると、故障の原因になります。お手入れしてください。
● ホース・伸縮パイプ・タービンブラシにゴミがつまったまま連続運転すると、点灯・点滅します。お手入れしてください。P4~6

お手入れ（ダストサインが点灯・点滅したとき P5 吸込力が弱くなったとき）

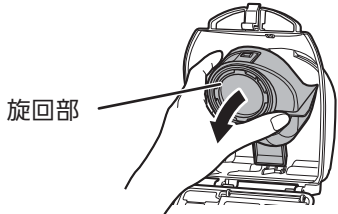
⚠警告 お手入れのときは電源プラグを抜く

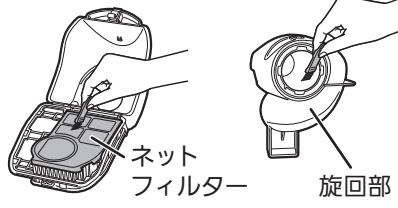
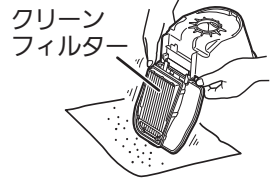
ダストケース

●ネットフィルター ●クリーンフィルター ●旋回部

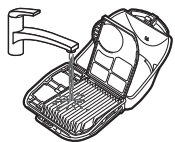
● 吸込力を保ち、衛生的にお使いいただくために、1カ月に1回程度お手入れしてください。
（ゴミの種類によってはフィルターが目づまりしやすくなる場合がありますので、お掃除ごとのお手入れをおすすめします）

1 旋回部をはずす

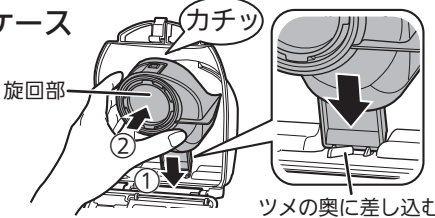
お知らせ 旋回部は分解できません。

2 ゴミを落とす

●付属のお手入れブラシでゴミを落とす（付属のブラシ以外は使わない）

●クリーンフィルターのゴミをたたいて落とす

お手入れブラシを使うときは軽く使う

おねがい お湯で洗ったり、つけおき洗いをしない。変色する場合がある。（変色しても、使用上問題はありません）

＜水洗いのしかた＞
こびりついたゴミはしっかり落としてから水洗いし、陰干しで充分乾燥させる
（乾燥が不充分だと、においの原因になります）

ダストケースの部品は、すべて水洗いできます
（旋回部は、はずして水洗いし、乾燥させる）

3 旋回部をダストケースに取りつける

①旋回部下側をツメの奥に差し込む
②上側を押し込む

おねがい
● ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤・漂白剤は使わない。
● 暖房器具やドライヤーで乾燥しない。
〔ヒビ割れや変形・変色の原因〕
● お手入れ後は、必ず旋回部を取りつける。

●フィルターセットがはずれてしまったときは

フィルターセットの突起片方をダストケースの取りつけ穴に入れてから、もう片方を押し込む

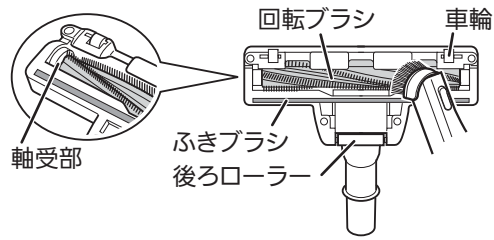
●ネットフィルターがはずれてしまったときは

ネットフィルターの突起の片方をクリーンフィルターの穴に取りつけてから、もう片方を入れる

タービンブラシ

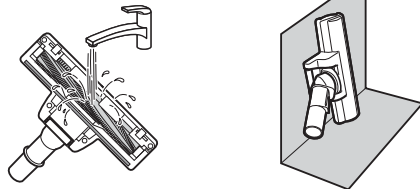
● 必ず伸縮パイプからはずしてお手入れしてください。
● 車輪・後ろローラーにゴミがからみついたまま使わないでください。〔床面を傷つける原因〕

＜ふだんのお手入れ＞

ふきブラシ・回転ブラシのゴミを吸い取る

● 回転ブラシにからみついた糸くずや髪の毛などは、ハサミで切ってください。
※回転ブラシ・ふきブラシを傷つけないように注意してください。

● 砂ゴミなどで回転ブラシの動きが悪くなったときは、回転ブラシを指で回しながら左右の軸受部にすみずみブラシをあてて、吸い取ってください。
● 車輪・後ろローラーのゴミは、ピンセットなどで取り除いてください。

＜水洗いのしかた＞

①水、またはぬるま湯で洗う
②タービンブラシを5回以上振り、よく水をきる
③陰干しで、約1日乾かす

おねがい
● 洗剤・漂白剤などは使わない。
● つけおき洗いはしない。
● 暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しない。
● 回転ブラシに注油しない。
〔変形・変色・故障の原因〕

本体

かたくしぼった柔らかい布で水ぶきする

おねがい アルコール・シンナー・ベンジンなどでふかない。〔変質や変色の原因〕

すみずみブラシ

ゴミがからんだら、吸いながらようじなどを使って取る

おねがい 水洗いしない。〔故障の原因〕

● ネットフィルター、クリーンフィルター、お手入れブラシ、すみずみブラシは消耗部品です。消耗したら交換してください。 P7
● 回転ブラシ、ふきブラシが摩耗したら、修理をご依頼ください。 「三菱電機 修理窓口」（別紙）

故障かな？と思ったら

こんなとき		調べるところ・直しかた	参照ページ
●急に運転が停止した ●ダストサインが点灯・点滅した		次の場合、本体の保護装置が働いています。 ●ダストケースにゴミがたまりすぎた。 ●ホース・伸縮パイプ・タービンブラシにゴミなどがつまった。 ●先の細い吸口を長時間使用した。 ●ティッシュペーパーが目づまりした。 ●ふとんや衣類の圧縮袋を使用した。 →ダストケースのゴミをすて、お手入れする。	P3 P4~6
●吸込力が弱くなった ●運転音が高くなった ●ホースが縮む		●ダストケースにゴミがたまりすぎていませんか。 →ダストケースのゴミをすて、フィルターをお手入れする。	P4~6
		●ティッシュペーパーが目づまりしていませんか。 →ティッシュペーパーはゴミすてごとに交換する。	P4~5
		●延長コードを使用したり、他の製品と同一のコンセントで使用すると、電源電圧が低下し、吸込力が低下する場合があります。 →定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用する。	
		●ホース・伸縮パイプ・タービンブラシに異物がつまっていませんか。 →つまっていたら取り除く。	

＜ホースに異物がつまったときは＞

点検する

ホースを本体からはずし、片側から単3電池などを入れる。

反対側から出なければ、異物がつまっています。

取り出す

吸込力で移動させる
①タービンブラシ・伸縮パイプをはずして、ホースをまっすぐに伸ばす。
②吸込力 強 で運転しながら、手元パイプ部を手のひらで「ふさぐ」「はなす」の動作をくり返す。

細長いものでかき出す
針金ハンガーなど、弾力のあるものを伸ばして先端を曲げ、異物に引っかけて取り出す。（ホースを破かないように注意する）

ペンチなどで、被覆ごと指先程度の幅に曲げる

こんなとき		調べるところ・直しかた	参照ページ
運転しない		●電源プラグ、ホースが確実に差し込まれていますか。 →差し込み直す。	P3
		●ホースの本体差込口側のピンに、ゴミがついていませんか。 →取り除く。	
回転ブラシが回らない・回りにくい		●タービンブラシを床面から浮かせていませんか。 →床面につけて動かす。	P3
		●薄いじゅうたんやマットなどで、吸いつきすぎていませんか。 →吸込力を 中 または 弱 にする。	P4
		●ダストケースにゴミがたまりすぎていませんか。 →ゴミをすて、フィルターをお手入れする。	P4~6
		●回転ブラシに髪の毛・異物などがからんでいませんか。 →お手入れする。	P6
電源コードが巻き取れない・引き出せない		●電源コードが正常に巻き取られていないときがあります。 →（巻き取れないときは2～3m引き出してから）コード巻込みボタン（🔘マークの中央部）を押しながら、少しずつ「巻き取り」「引き出し」をくり返す。	
排気がにおう ※使い始めは、プラスチックなどのにおいがしますが、徐々に少なくなります。		●ダストケースに、ゴミがたまりすぎていませんか。（食べ物のかすやペットの毛などがにおう場合もあります） →ゴミをすて、フィルターをお手入れする。	P4~6
		●フィルター類が汚れていませんか。 →お手入れする。	P6
		●フィルター類が充分に乾いていますか。 →水洗い後は、陰干しで充分に乾燥させる。	
本体や排気が熱く感じる		●夏場など、本体が室温からさらに約30℃熱くなることがあります。 ●モーターを冷却した空気を排気しているため、熱く感じることがあります。 →異常ではありません。	
ダストサイン	ゴミがいっぱいなのに点灯しない	●吸込力 強 で確認していますか。 → 強 のときにお知らせします。 ●綿ゴミやペットの毛などが多いときは、風を通しやすいためゴミがいっぱいでも点灯しないことがあります。 →ダストケースをお手入れする。	P5 P6
	点灯する	●ダストケースにゴミがたまっていませんか。 →ゴミをすてる。	P4~5
		●フィルター類が目づまりしていませんか。 →お手入れする。	P6
	点滅する	●ダストサイン点灯後も、お手入れせずに使い続けていませんか。 ●本体の吸込力が自動的に低下します。この状態で運転を続けると保護装置が働いて運転が止まります。 →お手入れする。	P6

モーターの寿命について、知っておいていただきたいこと

掃除機のモーターには寿命があり、寿命の際には通電が遮断されます。このとき、異臭・異音をともなう場合があります。
これはモーターの部品（カーボンブラシ）が摩耗する際に発生するものです。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。

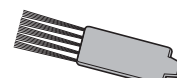
消耗部品 お近くの三菱電機ストアか取扱店でお求めください。

●ネットフィルター
部品番号：M11 E13 300

●クリーンフィルター
部品番号：M11 E13 260HEP

ネットフィルター / クリーンフィルター

すみずみブラシ
部品番号：M11 E01 490B

お手入れブラシ
部品番号：M11 E13 183

あると便利な別売部品

別売部品に付属しているつぎ手パイプを接続して使用してください。

ふとんブラシ	TI-23A
キャッチブラシ	AM-7
ハキトリブラシ	AM-8

保証とアフターサービス

■保証書

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日から1年間です

ただし、下記の部品は消耗部品ですので、
保証期間内でも有料とさせていただきます。
〈本体〉ネットフィルター、クリーンフィルター、お手入れブラシ
〈タービンブラシ〉回転ブラシ、ふきブラシ
〈すみずみブラシ〉

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この電気掃除機の補修用性能部品を製造打切り後6年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店かお近くの「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」（別紙）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」（7ページ）にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転「切」にし、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

商品と保証書をご持参のうえ、お買上げの販売店に依頼してください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては、販売店にご相談ください。

●修理料金は

技術料+部品代などで構成されています。

●修理部品は

部品共用化のため、共通色に変更する場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名　**三菱掃除機**
2. 形名　**TC-EXC7J**
3. お買上げ年月日
4. 故障の状況

愛情点検

★長年ご使用の掃除機の点検を!

このような症状はありませんか		ご使用中止	
	●スイッチを入れても、運転しない ●電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする ●運転中、時々止まる ●運転中、異常な音がする ●本体が変形したり、異常に熱い ●ホースが破れている ●こげくさいにおいがする ●その他の異常や故障がある		故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、必ず販売店にご相談ください。